



新型コロナウイルスの影響に関する支援情報を4ページに掲載



## 『あたらしい緑茶商品の開発と 販路開拓による茶業経営発展を目指して』

井上 憲治さん (36歳)

今回は、嬉野市金松地区で茶350aを経営されている井上憲治さんを紹介します。

井上さんは高校卒業後、静岡県にある国立野菜茶業研究所(当時)で農業技術研修制度を活用され、2年間、茶の栽培や製造などを学ばれました。

21歳の時に嬉野に戻り、井上製茶園の4代目として就農されました。就農して数年は収穫した新芽を売る“生葉売り農家”でしたが、現在では製茶工場を所有され荒茶の製造まで行われています。嬉野市で開催される「うれしの茶ミット」の運営委員として活動されており、嬉野茶PRや振興に尽力されています。また、平成28年からは嬉野の茶、温泉、肥前吉田焼の3つの伝統文化を提供する「嬉野茶時プロジェ

クト」に携わり、地域資源を活かした嬉野の魅力発信にも力を入れられています。

金松地区は標高300mほどの山間部で、場所によっては気象が変化しやすいところもあります。先代から継承された経営や技術に甘えることなく、試行錯誤を重ねられています。

現在、就農17年目になります。減農薬栽培など差別化が図れる取組みや茶時プロジェクトなど、6次化商品開発をしながら販路の確保・開拓にも力を入れられ、経営資源を最大限に活かした経営発展を模索されています。

また、昨年度からは青年農業士としても活躍されており、藤津地区の若きリーダーとして、今後ますますの活躍が期待されます。



## 活動方針

令和2年度 藤津農業改良普及センターは10年振りに新たな体制で動き出します（新たな体制は、4ページの職員紹介をご覧ください）。

現在、担い手の確保・育成、所得向上、中山間地域の振興への取組みや『さが園芸生産 888 億円推進運動』が展開される中、「豊かな自然・磨き輝き次世代へつなぐ、藤津の農業・農村」を目標として、管内農業の更なる発展と農村地域の活性化を図ります。

①次世代の担い手の確保・育成 ②稼げる農業経営体の創出 ③藤津農村の魅力アップを柱に、県重点プロジェクト3課題、地域課題8課題（今年度から新規に 1. 水田を守る農事組合法人等の経営発展 2. 施設トマトの先端技術活用による収益性向上）を展開していきます。

農家の皆さんや関係機関と連携し、普及活動を展開していきますので、今後とも皆様の御支援、御協力をお願いします。



センター長  
釘本和仁

## 受賞おめでとうございます

### 佐賀県果樹技術・経営コンクール 技術部門(露地不知火) 最優秀賞

村口英昭氏・ゆみ子 氏

村口さんは、露地不知火とハウス中晩柑栽培を経営されており、高いブランド率（デコポン合格率）を挙げられています。今回その栽培技術が認められ、令和元年度佐賀県果樹技術・経営コンクールで最優秀賞を受賞されました。

村口さんは一年の栽培管理の中で基本管理を徹底するとともに、特に①樹勢維持のための土づくり（有機物の施用、石灰資材の年2回散布）、②品質確保のため一番花の着果管理、③鮮度保持・腐敗果低減のための袋掛けおよびP-プラス袋（鮮度保持袋）を利用した貯蔵管理に力を入られています。

現在でも高品質果実の連年安定生産のため、新しい技術を試しながら更なる技術向上を目指されています。また、来年度には、佐賀果試35号とレモンの栽培にも取り組まれるなど、今後も活躍が期待されます。



### ナカシマファームの自信作

### 「ブラウンチーズ」が世界に羽ばたく!

世界最大級のチーズコンテストである「ワールドチーズアワード2019」が、2019年10月にイタリアで開催され、ナカシマファーム（嬉野市塩田町）の「ブラウンチーズ」が銅賞（609品/3,804品）を受賞しました。「ブラウンチーズ」はチーズを生産する際の副産物である乳清から作られ、キャラメルのような柔らかな口当たりと自然な甘みの特徴です。チーズは牧場併設のチーズ工房や道の駅太良、塩田町特産物直売所、ネット販売などで購入できますので、詳しくはHPをご覧ください。



ホームページ [嬉野市 ナカシマファーム](#)

検索



# 農業を始めたい人気軽にご相談を!!

## トレーニングファーム研修生 令和3年度入校生募集!!

3年目を迎えた鹿島市の就農支援研修施設「とまとトレーニングファーム」では、現在4名の研修生がハウスでの実践的な研修に励まれています。

研修2年目を迎える研修生は、日々の技術研修に加え普及センターが主催した新規就農基礎講座にも積極的に参加し知識の習得に努められました。「1年目に習得した技術を活かして、今年は経営面も考慮しながら栽培管理を行い、自信をもって就農できるように1年間頑張りたい」と意欲的に取り組まれています。

JAさがでは、今年度もトマトやキュウリのトレーニングファーム研修生募集を行っています。お問い合わせは、JAさが 鹿島藤津営農経済センター 園芸指導課 (TEL0954-62-2145) へ。



ホームページ [JAさが トレーニングファーム](#) 検索

## 藤津地区で農業を始めたい方 ~ワンストップ就農相談会受付中~

「就農したいけど、どこに相談してよいかわからない。」と困っている方の相談会を、毎月第4火曜の午後、鹿島新世紀センター3階で開催しています。事前予約が必要ですので、まずは、普及センターまたは市役所・役場の農政担当課へご連絡ください。

(普及センターのTEL: 0954-62-5221)



## 佐賀県農業大学校 令和3年度学生募集!!

明日の佐賀農業を担う人材の育成に取り組む佐賀県農業大学校では、令和3年度の学生を募集しています。農業大学校では、佐賀農業の主要品目の栽培技術や経営、さらに加工、販売等を学びます。技術や知識を学ぶとともに、将来の仲間づくりも魅力的です。今年もオープンキャンパスが、7月5日、7月29日、8月23日に開催されます。お問い合わせは、佐賀県農業大学校養成部 (TEL: 0952-45-2144) へ。



佐賀県農業大学校では、令和3年度入校生を募集します!

農大オープンキャンパス 2020参加者募集!

令和2年 7.5日・7.29日・8.23日  
毎日10:00~15:00  
無料(交通費は各自負担)  
~100回は一見にしかず~  
農業大学校の魅力を一度に体験!

学 科	学 費	募集人員	備 考
本 科	前期学費 10万円 後期学費 10万円 学 費 50万円	10名(前期学費)	前期学費納入後、後期学費納入後、入学試験合格後、入学後1年間の学費納入完了後、入学許可書が発行されます。
専 攻	専攻学費 10万円 専攻学費 10万円	10名(前期学費)	前期学費納入後、後期学費納入後、入学試験合格後、入学後1年間の学費納入完了後、入学許可書が発行されます。
専 攻	専攻学費 10万円 専攻学費 10万円	10名(前期学費)	前期学費納入後、後期学費納入後、入学試験合格後、入学後1年間の学費納入完了後、入学許可書が発行されます。

入学試験及び選考方法

入校年度	前期学費納入	後期学費納入	入 学 試 験	入 学 許 可 書 発 行
令和2年度	令和2年7月5日(月)~7月29日(日)	令和2年7月29日(日)	令和2年8月23日(日)	令和2年9月19日(日)
令和3年度	令和3年7月5日(月)~7月29日(日)	令和3年7月29日(日)	令和3年8月23日(日)	令和3年9月19日(日)

佐賀県農業大学校

佐賀県農業大学校 養成部

TEL: 0952-45-2144 FAX: 0952-45-2145





# 地域トピックス

## パン用小麦新品種「はる風ふわり」への取組

管内の小麦は、日本麺用の「チクゴイズミ」を主に作付けされていますが、実需者からはパン用小麦に対する強い要望があります。そこで、品種への取組みとして、令和2年産から嬉野市塩田町において、新たなパン用小麦品種「はる風ふわり」の試作(7ha)に取り組んでいます。

この品種の特徴は、収穫前に雨にあっても穂発芽しにくく、製パン加工適正に優れており、外国産小麦にも負けない“ふわふわでもちもちとした食パン”を作ることができます。

また、パン用小麦には、生産量に応じた交付金が加算されるので、一層の所得の向上が期待できます。



## シンテツポウユリを作ってみませんか？

新型コロナウイルス感染症の影響で花きの単価が低迷している中、花き栽培における低コスト・省力化が課題になっています。今回は、省力品目シンテツポウユリについて紹介します。

「さが園芸888億円推進事業」の中で、花きではシンテツポウユリの新規作付け推進に取り組んでいます。シンテツポウユリは、露地でも作付け可能で、比較的病害虫も少なく、軽労力なので女性でも取り組みやすい品目です。実生栽培が可能で、比較的経費もかからず、定植後4カ月程度で収穫できます。管内では4月に定植し、試作を開始しました。8~9月に出荷予定です。興味のある方は見学してみませんか。普及センターの野菜・花き担当までご連絡ください。



## 新型コロナウイルス感染症の影響に係る支援策として 様々な資金・給付金が用意されています。

支援分野	給付金名称
売上減少や資金繰りに対する支援	●持続化給付金(国) ●佐賀型チャレンジ事業者持続化支援金(県)
園芸品目の次期作付け等に対する支援	●高収益作物次期作支援交付金(国)
制度資金	●農林漁業セーフティネット資金 他

佐賀県では、農林漁業者の方々が支援の内容を探しやすいウェブサイトを開発しました。他省庁の支援策を含めとりまとめているのでぜひご活用ください。

### 問い合わせ先

**国の支援策** 九州農政局佐賀県拠点  
☎ 0952-23-3131

**県の支援策** 杵藤農林事務所農政課  
☎ 0954-63-5115



※高収益作物次期作支援交付金(国庫)についても農政課へ

## 令和2年度の普及指導員です。よろしくお願ひします。

